

OUTLINE IN THE FIRST HALF OF 2016

2016年上半期の総論

はいみなさまへこんにちはです。まーさです。お久しぶりの方々も、はじめましての方々も、どうもどうも。お元氣そうで何よりでございます。

再びこの総論を書く時期がやってまいりました…って、早い！早すぎる！（汗）半年って、一年って本当にあっという間ですね（しみじみ）。

今回もまずは軽いおさらいから始めたいと思います。

2015年は前半、火の星座の勢いが強い、獅子座木星&射手座土星期。後半乙女座に木星が移動して木星と土星は90度となりました。前半はあまりにわかりやすい、いけいけどんだった分（笑）、秋口から徐々に繊細に、全体の動きの単位が細くなってきた気配で、目に見える動きは（前半ほど）そこまでははっきりとはしていなかった気がします。

でもそうはいつでも、山羊座冥王星ともいい角度のこの木星、なかなか微に入り細に入り地道に仕事をしているようで（やはり土星座の進軍はいつもじわじわなのだ）。涼しくなると同時にみんなコツコツでしたというか。動き自体は大きくないけど着実さ&具体性を放っている感じで、確実にいろいろなところが動いてきています。多分一年をかけて、いろいろ変えていくのでしょうか。そういう計画性も乙女座っぽいです。

おそらく2015年の後半の流れをイメージするとしたら、前半まではノリでやっていたことに徐々に本腰を入れ始めたというか。一旦、勘で当てちゃった答えを、コンスタントに導けるようにするというか。何となくですが、2015年は「先に答えを教えて、いつでもそれを導き出せるような公式を後から作る」。一年を通じて見ると、こういう世界だったような気がしますね。

かつ、火の星座と土の星座は、それぞれの熱さを

持っているものの、一般的な意味では感情的（やはりこれは水星座の管轄）ではないので。

今期は、何かが事件的なもののがうわっとあっても、あまり後を引かない感じというか。何だかずっとさっぱりしてるな、熱量はあるけど乾いている…？というのも年間を通じて感じておりました。

2015年は風星座に全く星が入っていない時期も結構長かったので（周期的に回ってくる水星が唯一の存在ってことが多々あった）、

「みんながそれぞれ感じたこと、思ったこと、アイデアやひらめきが、それぞれつながらずぶつ切りのまま」（あまり実を結んでいる感じがしない、いろいろ話してもそこからの収穫が少ない）

みたいな感じもあったような気がします。

ああだなあ、こうだなあ、こうかもなあ、そうかもしれない、とそれぞれの瞬間で思っても、いつもより早く「ま、いいか」とか、「またあとで…」と考えてしまっただけのままになったり、またそれをすぐに共有できる相手や状況に恵まれなくて、情報として育たなかったり。こういうことですかね。

だから、悩みなんかも必要以上に膨らまず、気持ち的に言うとなんか言えば楽な感じでもありますが（時に水や風の要素は不必要に問題を煽る、膨張させる面もあります）、同時に

「これってというような案がなかなか浮かばない、新しい一歩を見つけれられない」

「一定のところまで行ってもそれ以上発想が先に先に進めないで、いったん戻るしかないみたいな、思考の道（中途半端）が山ほどできてしまった」

こういうことも多かったのかも。

閉塞感とは少し違うけど、つながっていかない、流れがないみたいな。

こういう印象を抱く瞬間が多い一年でしたね。

これを踏まえると「2015年は何だか“コミュニケーション”が足りなかった」。

こんな気もいたします。

言い方を変えるなら「ここからは、もっと意欲的に、その大事さ・意味を理解して、いろいろな人と話したり関わったりしていく必要があるな」ですかね。

そもそもコミュニケーションと言っても、その意味するところや良さ、方向性はいろいろな形があります（火には火の、土には土の…）。

2015年も、ある種のかかわりはかなり密だったと思うのですが、一番一般的な意味でのコミュニケーション、「会話、言葉での理解と、それに伴う感情的共感、話のふくらみと発展、イメージ力の強化、そこから生まれる創造性」みたいなものは、最近少し少なめだったなみたい。湿度や柔軟性、いい油分みたいなのが足りなかった感じです。

前も（これは前回下半期だろうか）そんなたとえつかった気がしますが、やっぱり2015年の会話は“男子”の会話なんだな（要点は伝わるがきめ細かくはない）。

でも、主に世界に彩りやふくらみを持たせるのは（時に無駄や停滞を作り出すのも…）“女子”の担当なので、やっぱりこれはこれで重要なんですね。

ここでさらにたどるなら…そうですね。クッキーとかパンとかうどんとか（笑）、何でもいいんですが、粉で練って作るものって、大体適度な水分と、時に油を入れますよね。もちろん入れすぎるとにゆるにゆるになりすぎて、形自体が作れなくなります。少なすぎてもダメですよ。長くしたいとし

ても乾いているので切れやすく、しなやかに長く伸びて行かない、つながっていかなくなるではないですか。

ああいうのに、何となく似ているなあ〜と、今はそんな風に感じます。

と言うところを踏まえれば。

ここからの半年、2016年上半年期は大筋同じ流れが続くんですけれども（まだ乙女座木星×射手座土星です。大惑星の移動はありませんので）。

「ちょっと（特に対話に関しては、情報に対するアンテナに関しては）女子の力&適度な水分、潤いを意識したほうがいいかも…」

これはあると思います。多分ポイントになります。

少なくとも、2015年頑張ってきてみて、もしそこで現状「何かが足りない」と感じているのなら。その足りないものは、世界を柔らかくつなぎ、動かすきめ細かい力、潤いや機転、かわいらしさ、柔軟さと気持ちの丸さを伴う何かなのではないかと。

ここを少し理解して上半期に突入すると、いきなり流れが変わることはないしろ、これまでに得にできなかった種類のヒントはつかみやすいのではないかと。

で、そんな前提を頭に入れてながら見ると、なかなか興味深いのでございますよ。2016年上半年期！では早速行ってみましょうか。

今への不満は単なる導火線。

より根本的な変化が必要だって

わかってたよ(涙)！ やるよ！ 1月！

まず1月。

年末に唯一逆行していた牡羊座天王星が順行に戻り、何と10惑星全部順行でのスムーズスタートです



(嬉)。そのせいもあってか、2015年年内最後の星を見ると「いろいろあるけど、何かしら方法はあ
るよ(仲良くやろう)」って言っているかのよう(ま
さ脳内)。

だから、これはよかったな~と思うのですが。この
辺もすでに出了「潤い大事」理論を裏付ける感じが
しますが。

はい、そう。そんな中でも「いろいろある…」のはま
ず大前提なんだな(汗)。

と言ってもこれはここで始まる内容はありませんか
ら、もはやいませらですが。

まず1月頭段階で、ここ最近双方逆行していたりで
少し配置がずれつつあった牡羊座天王星と山羊座
冥王星はかなりタイトに90度の配置。12星座内で
「ピシバシ行け!」系の先生ダブルコーチ状況、
継続中です(汗)。

改めて書いたことなかった気もしますが、
山羊座冥王星=「この世に永遠に続くルール、社
会、環境なんてありませんよ…」
牡羊座天王星=「自分らしく生きるということに、
挑戦の魂は不可欠なんだよ!」

ですかね。両名の言いたいことをミニマムに要約す
ると(笑)。で、こうしてみると言いたいことの根本
は同じだということもわかります。

「自分の望む世界と幸福の基準は、自分自身で作れ」
こういうことでしょうね。まだまだ両名とのおつきあ
いはしばらく続きますので、もう伴奏みたいに思っ
ておくとよろしいかと。これがある限り、「人生には
全身全霊でチャレンジしなければならないときがあ
る」というテーマは変わりません。楽に逃げても
得るものはないぞ~~~~~♪♪♪って伴奏で

す(笑。高圧力)。

同時に、射手座の土星もここに絡んできます。着実
に進んで天王星と良い角度。

地道さ、堅実さ、思慮深さ、長期的な視野が最も
大きな奇跡を生むのだ!的メロディライン。この土
星は4月ごろになると今度は現在乙女座滞在中の
木星と、またばっちり90度を取り始めるので、こ
のあたりで大きな流れは変わりそうですが。でもそ
こまでの数か月は特に「冷静かつ大胆な戦いム
ード」が大前提になりそうですね。先の伴奏の上に、
射手座土星=「納得した道を選びたいんだ~自分
だけの靈感を掴みたい~」みたいな人が、「そう
だそうだ!」「いいぞいいぞ!」「忘れてないか~
(大事なことを~)」とか、合いの手入れてくる感じ
でしょうか。

とはいえ、争えっていうんじゃなく、勇敢であれ果
敢であれ!っていうのが星のメインお導きってこと
です。その上で、それぞれその時のテーマが上に乗っ
かってくるって感じかな。

そんな大きな流れ(伴奏と呼ぶには音量大きすぎ
る)を踏まえた上での1月。

すいません、ようやく本題です。

そんな大惑星の思いが大きく響く年頭はみんなの
中で理想がクローズアップされる気配です。多分
始まりはそれこそ現状への葛藤なのでしょう。山羊
座太陽&冥王星周辺を通過中の水星がいきなり7
日から逆行スタート。「やっぱりこのままじゃだめだ
ー!」みたいなことが導火線になる気がします。

とはいえ、これも今気づいた新しい問題などではな
い感じ。前からあったし、対処もしてきて、それな
りに改善した面もあったんでしょ。だから、もしか
したら一旦は「もうこの問題は処理済」的に感じて
いた部分もあったのかも。

でもこの逆行のタイミング当たりで「やっぱりだめだー! もっと根本的な変化があるんだ!!」と分ってしまうような。でもわかってみてそれはそれで嫌じゃない感じで、「わかった、わかったって!」と、案外それを契機に針が振り切れてさっぱりするのもかもしれません。だから、ここで悩む感じはなし。やりやあいんだろー!(でも顔はすっきりしている) 的にとっと動き出す気もしますし、おそらくやるべきこともわかっているでしょう。その最後のきっかけが欲しかったのかなだと思います。あと、何かを変えていくにしても、常に全とっかえしなきゃいけないというはずはないですからね。その人自身が落ち着いていればいるほど、本来(そこまでもきちんとやってきているはずだし)、取り替えなきゃいけない部分は少ないはず。今回も、きちんと冷静になってみて見れば全とっかえではないんですが、「内心そこはいじりたくなかった部分も、変えなきゃいけない部分に入っていた」=全とっかえくらいの衝撃、こういうことでしょうね。実情は。

でもそういう、思い切ったチャレンジは必要ですし、いいと思いますよこの時期。主に自分の思いありきです。何をするかよりはね。一旦決意すれば勢いはかなりありそうなので、うわーっと取り組みそうなので、変化の総量は大きくなりそうですが。結果として。

かつ、こうやって実際にそういう動きを見せるとしても、同時にある種の余裕というか、人生の中には「今回は変化させない部分、既に新しくなっていて、今の自分を支えてくれている部分」はあるので、ここのバランス感覚も大事です。言い方を変えるなら、1月は“レギュラー”と“イレギュラー”が同時に生活の中に存在するときなので、どっちのことも大事にしながら進めてください。

多分この「どかんと大きなことに取り組みながらも、

それにすべてパワーを持っていかれない。バランスと柔軟性が大事」みたいなところも、先に出た潤い女子力の一旦でしょうね。普通に(何も考えず)進むと、かなり理屈っぽい、強行突破をやっちゃいそうな部分もあるんですが…でもそれじゃ何も新しくないわけよ。この星回り、ずっと続いているといいましたが、そう、何回もこういうムーブメントはあったんです。でも何周もしているのは「段階を踏んで深い部分へ進もう、やり方自体を進化させていこう」ということなのだから。この辺で「変化への熟練ぶり」も見せる必要があるし。そのくらい「上手くできるようになっているはずだよ。みんなとも協力し、分かち合えるはずだよ」と、星は言いたいのもかもしれません。

特に中旬以降、火星が蠍座に入り、魚座海王星とリンクし始めると、一層「本能や感覚、感情、体の判断にまかせてみて」的メッセージも濃厚になってきます。

大筋は理屈っぽいし、つい理想論を頭で考えて「こうしなければならぬ」と難しい方向に傾きがちなのですが、たとえるなら、「まあまあでもご飯はちゃんと食べて。寝るときは寝ないといい案も浮かばないし。冷静にね!」とレギュラーライフに言われ、ここで「思考が行き詰ってきたなら、ちょっと散歩でもしてひらめくのを待って見れば〜何なら飲みに行ってきたら〜」と蠍座と魚座に言われるみたいな(笑)。

以前ならその声も聞こえず、受け入れる余裕もなかったのかもですが。

「そう?」(じゃあごはん先に食べる、散歩行ってくる…)

が良い対処なんでしょう。